様式２

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	6・教図	第１・２・３学年 技術分野	技術・725	新技術・家庭（技術分野）
取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　「Ａ材料と加工に関する技術」 　プラスチックや金属材料のリサイクル方法を知ることを通して、材料と加工に関する技術が社会に果たしている役割と影響について理解する活動、最新の電波塔など、材料と加工に関する新しい技術が日常生活に与える影響を考えることを通して、材料と加工に関する技術を適切に評価し活用したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　「Ｂエネルギー変換に関する技術」 　コンバインド・サイクル発電やハイブリッド車等のエネルギーを節約する技術を調べることを通して、エネルギー変換に関する技術が社会に果たしている役割と影響について理解する活動、地球温暖化が進む現実や二酸化炭素回収装置などの問題を解決する技術を知ることを通して、エネルギー変換に関する技術を適切に評価し活用したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　「Ｃ生物育成に関する技術」 　有機肥料や有機質肥料を用いた栽培が見直されている理由について考えることを通して、生物育成に関する技術が社会に果たしている役割と影響について理解を深める活動、ＬＥＤによる人工照明を用いた栽培方法の利点を考えることを通して、生物育成に関する技術を適切に評価し活用する活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　「Ｄ情報に関する技術」 　コンピュータを活用することにより機能や性能が向上している例を調べることを通して、情報に関する技術が社会に果たしている役割と影響について理解する活動、コンピュータやネットワークのはたらきと問題を解決するための技術的アイディアの重要性を考えることを通して、情報に関する技術を適切に評価し活用する活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　知識・技能を習得、活用、探求への対応 　生物育成に関する技術で学習したことをもとに、コンプレックス（複合）型植物工場を例に生物育成の技術の将来を考えるなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 　学習内容を 10 の題材（24 の小題材）で構成するとともに、各章について、4 つの内容に関する、基礎的・基本的な知識を習得した後に、製作や実習を行い、これからの技術を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。 ○　内容の分量 　「Ａ材料と加工に関する技術」は 80 ページ、「Ｂエネルギー変換に関する技術」は 54 ページ、「Ｃ生物育成に関する技術」は 56 ページ、「Ｄ情報に関する技術」は 60 ページであり、総ページ数は 278 ページで、前回より約 9%増となっている。			
使用上の配慮等	○　各節のはじめに、その節の学習のねらいと興味をひく事項を示したり、各領域の始めに、見開きで「トピック」を設けたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　複数の実習例を示したり、「考えよう」マークで学習の課題を示したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすいフォントにするなど工夫するとともに、実習例のページの上段に実習の工程の流れを示したり、実習等で安全に活動ができるよう、「安全」「注意」マークを示したりするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	○　各領域の終わりに、「まとめ」と「章末問題」を設けることで、学習した内容を自分でまとめることができるよう配慮されている。 ○　巻末資料には、4 つの領域における授業内外で使用できる参考資料を設けており、特に「ディジタル用語一覧」では、不明瞭になりがちな単語を選定して掲載している。 ○　生物育成に関する技術では、畜産に関する記述を 8 ページ設け、学校に飼育する環境がなくても、動物の管理方法が学べるようになっている。			